

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	新畑・松の内地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県・日之影町	454427	1	平成21年度～ 平成24年度	平成21年度～ 平成24年度
活性化計画の区域				
新畑・松の内地区（宮崎県西臼杵郡日之影町）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用用排水施設等の機能の確保	9.60ha	9.60ha	100%	

(コメント)

農道及び営農飲雜用水施設の整備・保全により条件整備され、機能確保された農地が9.6haとなり目標を達成することができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
小規模農林地等保全整備	農道工 L=390.0m W=4.0m			日之影町
管理主体	事業着工年度		事業竣工年度	供用開始日
日之影町	平成21年度		平成24年度	平成25年2月13日
事業の効果				

新畑地区の農道は、幅員も狭く、路面はコンクリート舗装を施してあるものの、老朽化により激しく傷んでいる状態にある。また、排水施設が未整備であり、大雨時、路面水が人家や農地に流入するなど、営農条件をはじめ、生活環境に大きな影響を及ぼしている。

今回、新畑地区内の農道を整備したことにより、農産物の品質向上、農業機械の安全な通行を始め、その他緊急車両等のスムーズな進入等の地域に密着した農道の機能が確保された。

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
飲雑用水施設	営農飲雑用水施設 N=1.0式		日之影町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
松の内水道組合	平成21年度	平成22年度	平成22年8月31日
事業の効果			
松の内地区内の営農飲雑用水施設を整備したことにより、営農飲雑用水の安定供給がなされることはもちろん、ろ過施設の整備により、大雨時に発生していた濁水もなくなり、衛生面も大きく改善された。			
営農条件及び生活条件の向上により、地区住民の営農意欲が向上し、後継者育成や農地の保全が図られる。			

3 総合評価

(コメント)

本地区は日之影町中心部より北北東約5kmに位置し、新畠地区は標高約280m程度の比較的緩やかな傾斜地に農地が拓かれており、水稻や畜産を主体に葉たばこやキュウリ・花卉栽培に積極的に取り組んでいる地区である。一方、松の内地区は標高約370mの高台にあり、かつ急峻な地形であるため、農地の約7割は樹園地であり、ユズや渋柿の栽培に取り組み、日之影町の特産品である「柚下柿」の生産も行われている。

しかし、新畠地区の中心部を通っている農道は幅員も狭く、路面の劣化や排水施設の未整備等により営農及び住民生活に大きな影響を及ぼしていた。また、松の内地区的営農飲雑用水施設は老朽化のため、漏水が激しく、安定した営農飲雑用水の確保が困難な状況となっていた。

これらが要因となり、若者の流出や高齢化、離農化が加速し、地区が減退していくことが懸念されていた。

今回、新畠地区の農道を整備したことにより、営農及び生活条件が大きく向上したとともに、緊急車両等もスムーズに進入できるようになったことから、地域の防災力も向上した。

松の内地区的営農飲雑用水施設の整備により、漏水がなくなり、安定した営農飲雑用水の供給がなされることはもちろん、ろ過施設の整備により、大雨時に発生していた濁水もなくなり、衛生面も大きく改善された。

営農条件及び生活条件の向上により、地区住民の営農意欲が向上し、後継者育成や農地の保全が図られている。

今後は新規作物導入などの取組や農家民泊の受け入れなどを検討していく、地域の活性化、地区住民の定住化を図っていきたい。

4 第三者の意見

(コメント)

本地区は、高台にあり急傾斜地帯であるため、農地の7割を樹園地が占めている。地区内の農道は未整備で、営農飲雑用水施設も老朽化が進んでいる。

本事業により、農道を整備したことにより、農産物の品質向上、農業機械の安全な通行等の効果をもたらした。また、営農飲雑用水施設を整備したことにより、営農飲雑用水の安定供給が図られた。このように、本事業により、地域農業発展の基礎条件が改善され、生活条件も改善されたことによって、農業振興のみならず、今後一層地域の活性化が進むことが期待される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)